



# NEWS

THE TETSUJIN NEWS

株式会社東部がお届けするインフォメーション・レター

発行所 株式会社東部鉄人二ニュース事務局  
神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4  
TEL.042-764-4128  
FAX.042-762-9593  
編集 鈴木明子  
http://www.tobu21.co.jp

Vol.50  
2014  
10月号

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

## 実戦に強い!貫入性能No.1『e-pile』



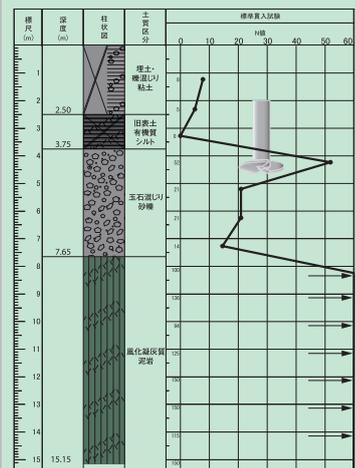
本件は、既存病院の管理棟増築に伴う杭基礎工事です。  
浅層から非常に強固な玉石混じり砂礫層を支持層とした設計であり、杭長及び支持層への根入れ確保の為、先行掘削を視野に入れた施工が課題の現場でした。  
実施工に於いては、e-pile工法の最大の特徴でもある杭先端の菱形孔と切削刃とが抜群の貫入性能を発揮し、予定していた先行掘削を行わずに支持層まで貫入、工期短縮に努めました。

元請様には、搬入路の整地・養生、施工地盤の整備、障害物への対応等、多大な御協力を賜り、安全且つ無事に完工する事ができました。

杭の種類 φ355.6mm t 9.5mm  
stk490 2.58m×44本 Dw700mm



### ボーリング柱状図



工事名	某病院 管理棟増築工事
施工地	栃木県宇都宮市
構造	鉄骨造
階数	地上7階

☆ご採用いただき、誠に有り難うございました。

## e-pile 人に、地球に、やさしい再生可能な「循環型杭工法」

国土交通省大臣認定工法

### 現場で生まれた杭は やはり実践にも強かった。



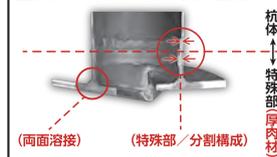
建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

### 全ての鍵は杭先端にあり

杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

- 貫入性の問題を・・・『**菱型穴**』により解決しました。
- 拡翼変形の問題を・・・『**特殊部**』により解決しました。
- コストの問題を・・・『**自社施工**』により解決しました。

#### ■高力構造/拡翼断面図



#### ■FEM解析図



鋼管杭基礎総合メーカー  
**Tobu** 株式会社 東部  
http://www.tobu21.co.jp

■ 本社  
〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1507-5  
TEL.042-762-4739 FAX.042-762-8971

■ 地盤評価センター  
TEL.042-785-2811 FAX.042-785-2810

■ 施工管理センター  
TEL.042-764-4122 FAX.042-762-8975

■ 相模原機材センター  
〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1285-1  
TEL.042-785-2812 FAX.042-785-2813

■ 本店/経理室  
〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4  
TEL.042-764-4128 FAX.042-762-9593



## 国土交通省は平成26年9月18日に平成26年都道府県地価調査の結果を公表しました。

### ○ 地価調査結果の概要

詳しくは国土交通省のホームページをご覧ください。

#### 【住宅地】

住宅ローン減税、低金利等の施策による住宅需要の下支えや景況感の改善による住宅需要拡大等もあって、都道府県全てで下落率縮小や上昇率の拡大等が見られる。特に利便性、住環境等良好な住宅地では上昇基調を強め、また、その周辺部の住宅地にも上昇基調の広がりが見られる。東京圏は上昇地点の割合が増加し、半数以上の地点が上昇となり、1年を通して上昇に転じた。特に東京都は全国1位の上昇率となり、また東京都以外では東京都心部への交通利便性が良好な地域で上昇基調を強めている。なお、半年毎の地価動向をみると後半はやや上昇を弱めている。

#### 【商業地】

低金利等による資金調達環境の改善や景況感の改善、消費動向改善を背景に都道府県全てで下落率縮小や上昇率の拡大等が見られる。また堅調な住宅需要を背景に、商業地をマンション用地として利用する動きが全国的に見られ、上昇又は下落率縮小となった要因の一つとなっている。三大都市圏を中心に上昇となった都道府県が見られるが、主要都市の中心部などでは店舗について消費動向は堅調で、またオフィスについても空室率は概ね改善傾向が続き、投資用不動産等への需要が回復している。更にBCP（事業継続計画）等の観点から耐震性に優れた新築・大規模オフィスへの動きが継続して見られるなど、高度商業地や再開発等の進む地域で上昇基調を強めている。

東京圏は上昇地点の割合が増加し、3/4強の地点が上昇となった。埼玉県、千葉県は下落から上昇に転じ、東京都、神奈川県は上昇率を拡大した。なお、半年毎の地価動向をみると同率の上昇となった。

### ○ 都道府県別・用途別平均価格表

単位：円/㎡

都道府県	住宅地		宅地見込地		商業地		工業地	
	平成25年平均価格	平成26年平均価格	平成25年平均価格	平成26年平均価格	平成25年平均価格	平成26年平均価格	平成25年平均価格	平成26年平均価格
東京都	309,700	317,000	15,800	15,800	1,378,000	1,445,700	223,000	231,500
神奈川県	169,900	171,800	48,100	—	402,000	423,200	103,000	104,300

## ワンポイント 健康コラム

### 知っておきたい「デング熱」

デング熱って何？デングウィルスが体内に侵入し、風邪やインフルエンザに似た症状が現れ、体調不良を起こす感染症なのです。

#### 主な症状

■頭痛 ■発熱 ■筋肉痛 ■関節痛

また麻疹(はしか)に似た発疹が全身に出ることもあります。デング熱と、風邪やインフルエンザの違いは、感染が重症化した場合、デングショック症候群と呼ばれる危険な状態に陥ることもあるので要注意です。

#### ◆デングショック症候群とは？

体内の重要な成分である血小板が減少したり、出血状態が起きて、**出血性ショックを起こす状態**のことをいいます。デング出血熱(デングショック)が起きた場合は**最悪の場合、死に至ることもある**ので油断は出来ません。

#### ◆感染経路は？

感染経路としては、デングウィルスを媒介する生物に人が刺されることにより感染を引き起こします。その媒介生物が、ヤブ蚊の一種、ネタイシマカやヒトスジシマカです。もともとこれらの蚊は、熱帯地方に多く生息しており、世界的に見ると、東南アジアなどでデング熱感染例が多く報告されているようです。

もちろん、日本においても一部地域を除いて、これらの蚊は生息していますが、デング熱の発生場所から、**現在デングウィルスを媒介している蚊は首都圏のみ**であるとされています。デング熱は、アフリカ大陸で大流行しているエボラ出血熱とは違い、**人から人への感染は基本的にはありません**。例外としては、感染した母体から妊娠した際に子どもに感染してしまふ垂直感染や、献血等で感染者の血液を採取したものを、患者に使用した場合など。

#### ◆デング熱と風邪の見分け方

デング熱は前述したように風邪や、インフルエンザの症状と酷似しており素人では判別するのは困難だと言われていますが、判別の指標になる症状のひとつは、「**目の裏が痛い**」。これが症状に含まれている場合は、デング熱感染が疑われるので病院に行くべきひとつの指標となりますので気になる症状がある場合は、すぐに病院に行きましょう。

冬には落ち着くといわれているデング熱ですが、**油断せずに虫除けスプレーなどを利用して予防を心がけましょう!!**



## 経理マンが行く

### 運動会

セミの声も一段落し、夜長に鈴虫が鳴き始めました。もう、秋ですね。秋と言えば食欲の秋、読書の秋、そしてスポーツの秋です。昔は**運動会**と言えば**10月の体育の日が定番**でしたが、最近**は春先にする学校もあり**、各学校で様々な取り組みをしているようです。

そもそも**日本で初めて運動会が行われたのは、1874年(明治7年)の東京**。築地にある海軍兵学校でイギリス人英語教師の指導により行われた「**競闘遊戯会**」が、今の運動会の始まりだと言われています。その後全国の小学校などに広まっていき、毎年秋に開催する恒例行事として定着するようになりました。当時の運動会でも、**陸上競技や綱引き**といった今と同じような種目が行われており、あの「**パン食い競争**」も、運動会の始まりとほぼ同時に生まれた歴史ある種目なのです。また当時の自由民主運動から騎馬戦・棒おしといった種目が誕生、日清戦争の影響で海戦や陸戦をまねた種目が行われるなど、当時の運動会には戦争や政治の影響が色濃く反映されていました。

その一方で、昔の運動会では私たちが聞いたこともないような種目も行われていました。例えば「**豚追い競争**」。体中に食用油を塗った子豚を場内に放ち、競技参加者がそれを追いかけて捕まえるというもので、油で滑ってなかなか捕まえない様子は、観客の爆笑を誘っていたそうです。またその他に、走り高跳びは「**ぼらのあみごえ**」、三段跳びは「**うさぎのつきみ**」というように、**一見何かわからない独特の名前で呼ばれている種目もありました**。

また、運動会といえば、校庭に飾られた「**万国旗**」が印象的ですが、なぜ運動会で万国旗を飾るのか、考えてみるとちょっと不思議ですね。その理由は、**運動会が始まった明治初期、日本にやって来る船舶は、友好の証として入港する際に自国の国旗と日本の国旗を掲げていました**。また当時日本も参加するようになっていた万国博覧会では、各国の国旗が掲げられていました。こういったイメージから「**賑やかなイベント**」の象徴として、運動会にも万国旗が使われるようになったと考えられています。最近の運動会では、ケガをしないように組み体操も簡単なものに姿を変え、騎馬戦も棒倒しも種目から外されつつあります。競う=争う=ケガをするという観念が働くのでしょうか。昔、転んで膝をすりむき、それでも走った運動会が懐かしく思い出されます。競うという事は、競えるという喜びだという事を今の子供達は知らないのかもしれませんが、**競えるという事は、可能性という事です**。自分がどこまで競えるのか、オリンピックの選手は小さい頃からその教育を受けているからこそ、あの精神力で、負けん気が強く、我慢強く、積極的な姿勢があります。とは言い、自分の子供には勉強しなさいといってしまうかもしれません。昔の教育方法も再度見直してみると、今の子育てにいいヒントがあるのかもしれない。

